資料２－２

【調布市見守りネットワーク】
事業概要・令和3年度の実績報告

調布市　福祉健康部　高齢者支援室
令和４年9月

高齢者を取りまく現状

調布市高齢者人口の推移（H31～R4）

高齢者全体で徐々に人数は伸びています。後期高齢者（75歳以上）も人数，割合が増加傾向にあり，今後より増加が加速されることが予想されます。

	65歳以上（人）	75歳以上（人）	７５歳以上の割合（６５歳以上人口中）
H31	50,503	26,666	52.80%
R2	51,045	27,265	53.41%
R3	51,378	27,259	53.06%
R4	51,600	27,911	54.09%

調布市版地域包括ケアシステム

第8調布市高齢者総合計画より抜粋

地域包括支援センターの業務

1．予防給付・介護予防事業のケアマネジメント業務

（ケアプランの作成・サービス利用の支援等）

2．総合相談支援業務

（地域に生活する高齢者の相談窓口）

3．権利擁護業務

（高齢者の虐待防止や人権擁護などの支援）

4．包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

（さまざまな資源を活用した支援が 継続的に提供できるよう生活を支援）

5．認知症に関する総合的な相談及び支援

6．在宅医療と介護サービスの連携の推進

7．調布市の独自の機能としての

見守りネットワーク対応業務（みまもっと窓口）

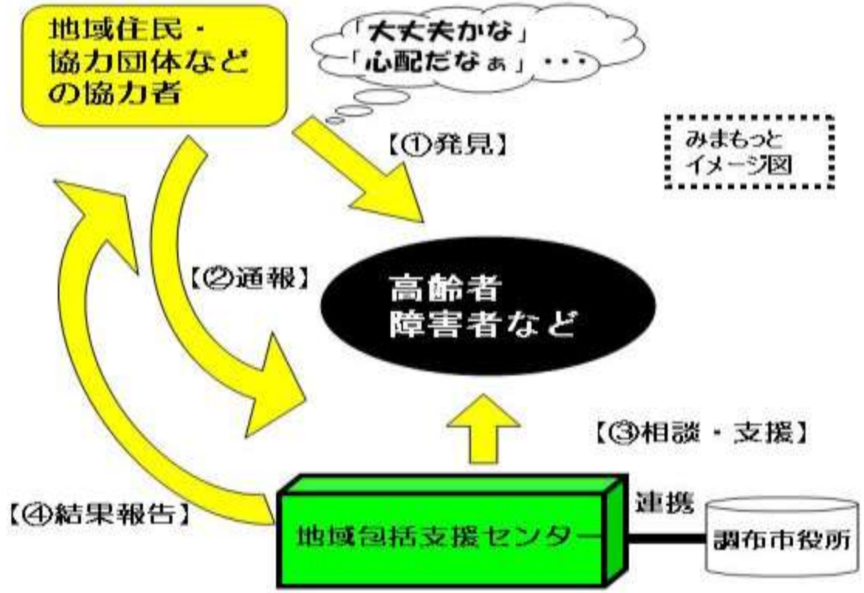
※SC・CSWを含む多職種連携はどの業務でも促進が図られている。

「調布市見守りネットワーク」とは？

愛称「みまもっと」

　市内のひとりぐらしの高齢者や障害者，生活困窮者など，支援が必要な方々が，住み慣れた地域で，安全で安心して暮らし続けられるように，地域支え合いの福祉の実現を目指して，「地域包括支援センター」を核として，地域住民，関係機関，協力団体及び市が相互に連携し合うネットワークです。

連携の流れ

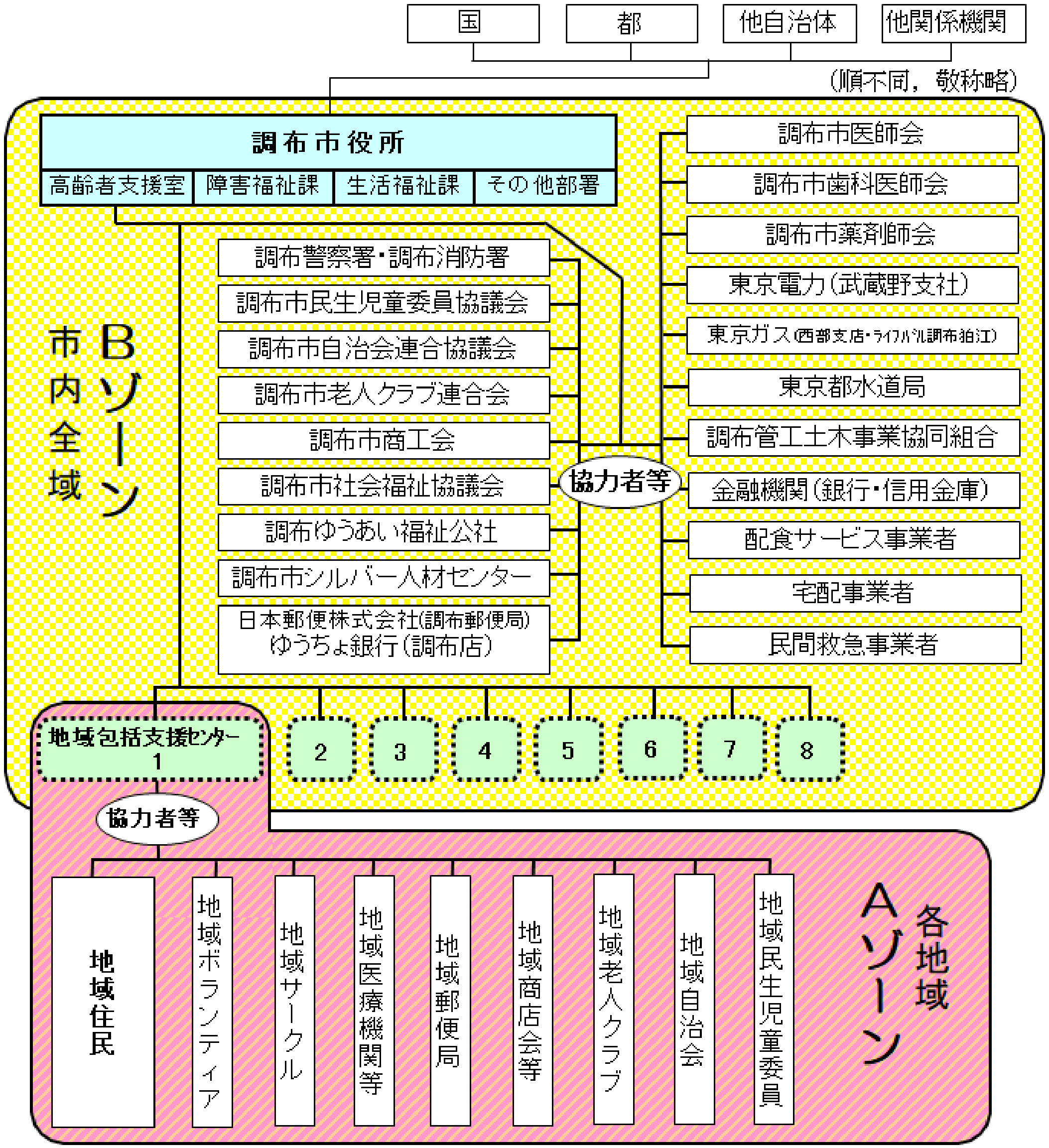


モットー

“ソフトな見守り

ゆるやかな働きかけ”

Aゾーン・Bゾーンの連携図



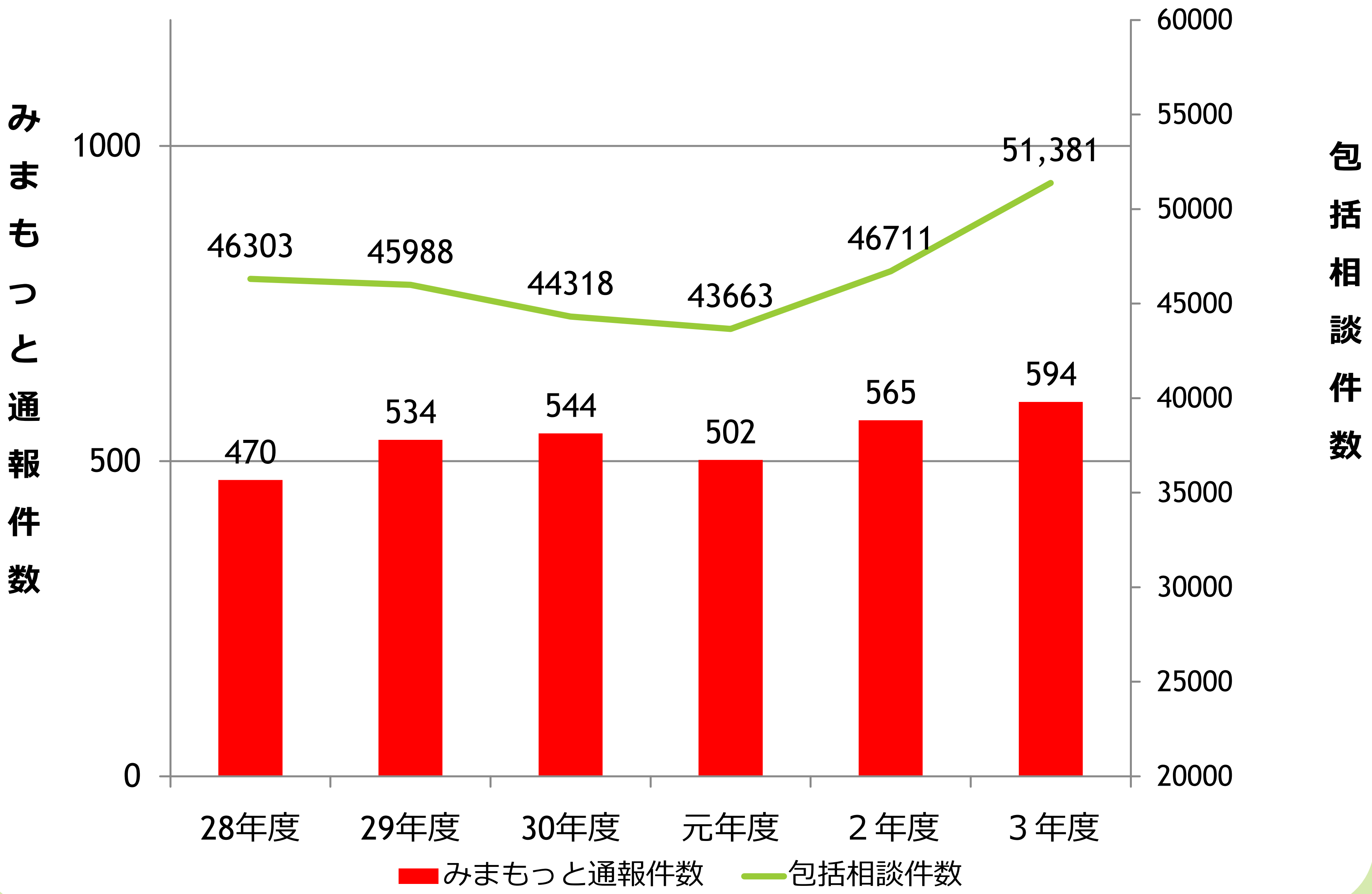
Bゾーン

Aゾーンの集合体として，8地域の地域包括支援センターと市内全域を統括する関係団体との大きなネットワーク

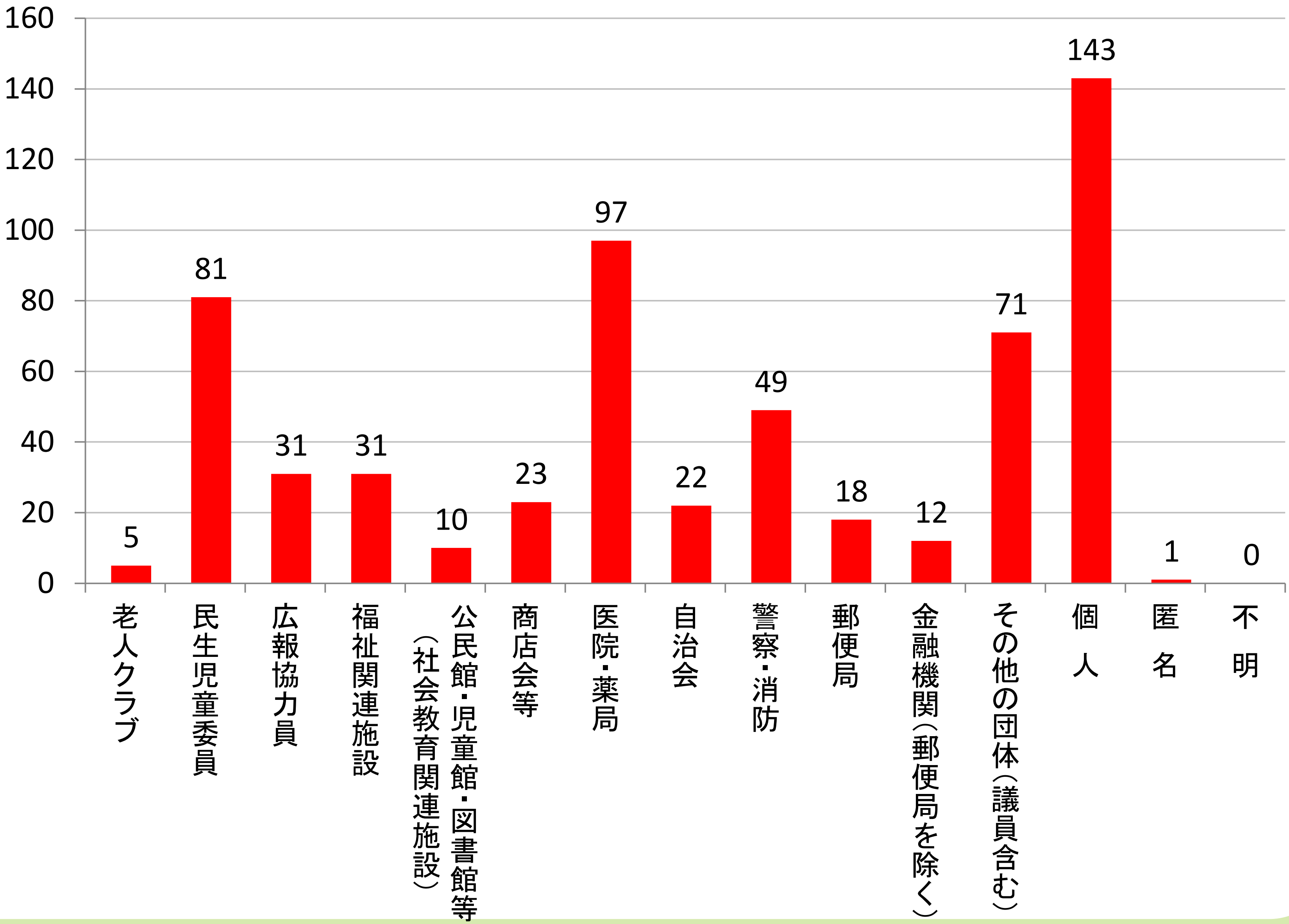
Aゾーン

地域包括支援センターの担当地区におおよそ合わせた，各地域のネットワーク

みまもっと通報件数，地域包括支援センター相談件数



令和3年度 通報元機関



160
140
120
100
80
60
40
20
0
5
81
31
31
10
23
97
22
49
18
12
71
143
1
0
老人クラブ
民生児童委員
広報協力員
福祉関連施設
公民館・児童館・図書館等（社会教育関連施設）
商店会等
医院・薬局
自治会
警察・消防
郵便局
金融機関（郵便局を除く）
その他の団体（議員含む）
個人
匿名
不明

令和3年度 通報内容別の対応結果

通報内容（主訴）＼対応した結果	見守りを継続介入機会をうかがう	介護保険へ繋げる・サービス導入へ繋げる	受診・入院支援（緊急）	ケアマネを含めて関係機関と連携・連絡した	家族・親戚と連携した	その他	総計
知っておいてほしい	34	10	0	32	7	1	84
情報を持っていて，対応しているか	40	11	1	110	41	3	206
了解はないが，気になるので様子を見に行ってほしい	22	7	2	29	18	1	79
了解をとっているため，様子を見に行ってほしい	2	8	1	4	2	0	17
本人の了解はないが，相談にのってほしい	23	5	0	29	16	0	73
本人の了解はとっているため，相談にのってほしい	15	56	0	36	13	0	120
高齢者虐待が疑われるので気になる	1	0	0	0	0	0	1
すぐ行って対応してほしい	0	2	2	10	8	0	22
その他	2	0	0	8	6	0	16
総計	139	99	6	258	111	5	618

引き続き 御協力をお願いします

コロナ禍でも途切れないつながりの構築

▶新型コロナウィルス感染拡大により，長期にわたる外出自粛が続いた結果，高齢者等の心身状況や医療・介護サービスの提供体制に影響を及ぼしています。

▶新しい生活様式への転換が図られる中，災害発生時や感染症等の流行下でも途切れることのない医療・介護サービスの提供体制と地域のつながりを構築することが求められています。

▶日々の業務の中で気がついたことを

地域包括支援センターにご連絡ください。